

「地元で調子上がってきた」

陸上男子砲丸投げの森下大地さん(31)は加古川市に、東京・国立競技場で開かれた日本選手権(4〜6日)で優勝した。高砂市に本社がある鶏卵メーカー「籠谷」の陸上競技部所属で、同市役所を訪問して結果を報告。日本選手権での優勝は初めてで「地元に戻ってきて調子が上がってきた」と喜びを語った。(中川 恵)

9月の世界選手権目指し意欲 市役所表敬、喜び語る



森下さんは加古川市立永丘中で砲丸投げを始め、滝川高校(神戸市)、筑波大を経て、関東で働きながら競技を続けてきた。高校時代、日本チャンピオンが学校に指導に来てくれたことが忘れられず、「地元の子どもたちに競技する姿を見せたい」と昨年4月、同社に入社した。

今回の記録は18歳19。日本記録保持者でもある2位の選手との差はわずかで「危なかった。何とか勝てた」と振り返る。今後、日本記録を塗り替えれば、9月にある世界選手権東京大会も視野に入るといい、さらなる記録更新を目指す。

森下さんは「トラック競技に比べてフィールド種目は注目されづらい」とした上で「これを機に応援してくれる人が増えたらうれしいです」と話した。

KAGOTANI陸上競技部は2021年創部。11

加古川の小中39校で終業式 さあ夏休み!! 楽しもう



初めての通知表を受け取る平岡北小の児童は加古川市平岡町新在家

日本料理
しげ真
079
427-4055

人が所属し、日本選手権では、森下さんのほかに、女子砲丸投げのエバサカテレサさん(25)は姫路商業高出身が6位、女子砲丸投げで那須真由さん(29)は園田学園女子大出身が7位に入賞した。選手らは17日、高砂市役所を訪問。エバサカさんは日頃、姫路商業高校や赤穂市内で練習しており「高砂市陸上競技場でも砲丸投げの練習ができるようになれば」と話した。

加古川市内の小中学校など39校で24日、1学期の終業式があった。児童たちは各教室で担任から通知表を受け取り、待望の夏休みに胸を躍らせた。

加古川市平岡町新在家の

平岡北小学校では、熱中症対策のためリモートで終業式が行われ、各教室と別室をオンラインでつなぐ形で実施された。児童約550人は各教室で、画面越しに衣川公彦校長(59)の話を聞